

日八廿月三

常警每日新聞

定額一ヶ月五元 三ヶ月十五元 半年三十元 一年六十元
廣告料五號十二字第一行五元 五號以下減半
日曜祭日の日休刊
發行所 常警毎日新聞社 平野町三丁目
電話 六二〇
印刷所 常警毎日印刷株式会社 平野町三丁目

郷土の花 山崎伍長 (一)

飯野小學校生徒合作

……琵琶……
此處は御國の何百里
赤い夕陽に照されて
平田部隊のもとにある
聞くもの誰か泣かざらん
離れて遠き満洲の
皇國の權益死守したる
山崎伍長の奮闘を

幕ごままでに随時に幕を上げ
了へる中隊長地圖を見て
居る、兵隊折式休めの姿勢
前面に向つて居る
中隊長「立て！事變勃發以
來數十回の激戦に遭遇し
たる我中隊は肉弾に肉弾
を以てし少しも卑怯未練
がましい所なくよく軍規
を守り奮戦したるは聯隊
きつての名譽である……
中隊長としても實に喜ば
しい深く感謝すると共に
これから益々自重奮勵以
て皇國の爲めに盡されん
ことを望む
休め！」

今は待機中で……でしば
らく休息するゆつくり休
んで大いに英氣を養へ來
るべき戦場に益々花々し
い働きをすることにしよう……
何か感想でも談つ
て見え！
遠藤「遠藤は支那兵の弱い
のには驚きました」

松本「松本は支那兵の貪慾
驚いたんであります、
味方が危機にあるのまか
まはず掠奪暴行をほしい
まゝにしてゐるんであり
ます」
中隊長「ウ……あさましい
魚は乾く
と鱗が離
れにくく
なる料理に着手する迄は
河魚は淡水海魚は鹽を加
へた水に浸して置くがよ
い」

ノート

兵隊だ金の爲に買はれて
居るのだからな、何の爲
に誰の爲に戦争をして居
るのかそれ自身わからぬ
のだ」
杉山「誰の爲に何の爲に働
いて居るんだかわからん
ですか？」
中隊長「そうとも親分子分
でなければ彼等は働かぬ
皆にけて行つてしまふ愛
國心などは更にないまる
で犬猫にもおとる奴等だ
なア菅波！」
菅波「はい さうであるん
であります」
田中「日本人の爪のあか
も飲ましてやりたいんで
あります」

鈴木「鈴木も大いに憤慨に
たへません」
中隊長「ウ……亡國の民じ
や他人のことでもはがゆ
い感じがするなア一体支
那人には協同も團結もな
いのが自分さへよけれ
ば他人をどんなに苦しめ
てもよいのぢや本當の鳥
合の衆だから舉同一致
愛國號を作らう等といふ
ことはてんで夢にも思は
れやしない、實際吾等は
大日本帝國に生れたこと
を深く感謝しなければな
らぬぞ」
飯田「さうであるんであり
ます」
山田「實際山田も支那兵の
暴行には驚いたんであり
ます、一体支那兵は人民
を苦しめるのにあるのか
」

明日の献立

- 【朝】みそ汁：あられ豆腐
- 菜
- 【晝】煮肴：鮮魚煮付
- ん 生姜
- 【晚】薄くす汁：薄うち竹の子 薄くす わさび

どうかかわりませと思ひ
ますあんな兵隊で何で國
家の安寧秩序は保てませ
うあの亂暴さはまる行ひ
には支那國民でなくとも
泣かされました」

現出のンシミ國愛

家庭裁縫の簡易化

一般家庭に於てミシンの便利重寶なる事は
皆さんの御承知の通り其の需要を要求して
りましたが從來のミシンは數十圓數百圓の
高價の爲め一般家庭用として購入出来ませ
んでしたのが今般斯界の大家田島先生の數ヶ
年の苦心研究によつて斯く大衆向の愛國ミ
シンが完成され然も突飛的の定價にて從來
のミシンと遜色なく便利で各御家庭には必
ず常備として一臺なくてはならぬ様になり
ました。本機の使用方法は極めて簡單で御
子様方でも三十分位の練習で自由に和洋の
御仕立が出来ます（御注文は代引又は前金
に願ひます。送料實費）

外交員募集

平 驛 前
石城郡下代理店 マルカ
多賀郡下代理店 店主 加藤 正保
電話 三二番

玉屋洋品店
平町田町通電話二五六番

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
平町田町 電話五一三番

内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

御贈答に
記念品に
諸景品に

漆器を!!!

誠實勉強
親切第一
在庫豊富

是非御用命を
ドコヨリモ、ヨイシナラ、ドコヨリモ、ヤスクウ
ル、アリモノミセ
平町三丁目北裏(元郵便局裏通り)
各國産漆器
専門卸小賣
漆器店
店員募集 十三四才位 小 店員
三十才迄位 外 店員

外科

専門線 X

上田外科病院

平町南町
電話一二九番

御待兼の世界的
流行玩具の王様
ヨロヨロ 店にて御求め下さい

安價 一個五錢 十錢 二十錢

當工場製品にはヨロヨロの遊び方説明書進呈致します
募集廣告 一、挽物製作徒弟 五名
二、木取手見習 一名

右ハ本年尋常又ハ高等卒業ノ身身體建固ニシテ意志
強固ナル者
右希望者ハ自筆履歷書ニ學業成績表ヲ添へ至急御申
込ヲ乞フ

各種挽物 丸盆類
木製教育玩具製作
家具附屬品一式
佐藤挽物製作所

平町十五丁目三十番地
電話(ヤマ)又ハ(カノ)
特約店 森下玩具店 金太郎玩具店
イワキ屋便利店 立花屋商店

中村齒科醫院

平町鍛冶町七

花の平町

人出でうめる計画

電光輝き美妓は踊る！

公園の傍らに假ホーム

昨報平町では松ヶ岡公園の櫻花をキツ掛けに花見景氣を盛り立てんと昨廿七日午後一時より

會議室に 土木委員を

始め平驛、平署、消防組、藝妓屋組合等の人々が集り

具體案を協議した結果公園の電飾装置は消防組が一手

に引受け十日頃より園内に千燈及び照明燈數ヶを設置

して夜の公園をさんらんとる不夜城たらしめ藝妓屋組

合では十日を皮切りに十三、十五、十六、十七、十八の

六日間園内に設けた舞臺に美妓を出演せしめるが一方

鐵道側で は特に公園地内傍らの線路に假ホーム

を設備して一日二列車づつ、停車し觀櫻客の便を計る事

となつたので町役場では同公園の櫻だよりを各地に飛ばし常磐、東北各驛にボス

ターを 掲揚する 等花の平町を人出で埋める計劃である

と

を

を

を

匡救事業は

廿五日で竣工

既報平土木監督所管内七年度匡救事業は去る廿五日を以つて全部竣工し其後速日残務の整理に忙殺されて居るが検査官たる小林所長の竣工検査日割左の如くである

(三月廿八日)泉、好間、水戸、箕輪(廿九日)高久

の敗訴に歸した、此處に及んで灌漑民の投下した金額は前後を通じて八十萬圓の巨額に達し、借金苦の重壓は

農民達を 全くペシヤンコにして終つた、斯ふなつては縣廳の適當な救済を待つより外に方途はない、そして吾々は此苦難より幾分でも逃れる事に努めやう

夫れには吾々の 強い味方 となつて健

を

を

を

を

を

を

を

八十名のトラホーム検査を來月四日午前九時より第一小學校講堂にて執行する

四年生高校へ 警城

中學校四年生梶原彊君は此程第二高等學校の入學試験

新聞の切抜きで

生徒を指導

平商の新試み

平商業學校にては此程職員會を開いた結果新學年よりは新聞記事の切抜きを指示して生徒の指導教材に當て又タイプライターの課外教授

平青年訓練所の

申込が一名もない

指導員戸別勧誘

平青年訓練所にては過般來町の要所々々にポスターを貼り本年度入所生の募集を内行つて居るが目下の處は申込者が一人もないので坂

を長期に亘つて無事に勤め上げた人

鮫川水力の問題は任期中の出來事であつた丈に

翁は退職後病床に在つても非常に此事を苦に惱んで居

た、鮫川堰の問題は古川家として實に親子二代に亘つ

て連る因縁がある、愈よ

古川縣議 は同問題解決の爲めに捨て身となつて

縣廳にブツ付かる事となつた。(續)

に合格したと

鹿島青年協議 石城

郡鹿島村青年團役員會は來

る卅日午前十時より同村小

學校に開會春期總會開催に

就いて打合せを行ふと

をなす外年二回宛生徒の成

績品展覽會及び保護者會を

催し職員の家訪問等を行

ふ事に決定した

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

藤田女學校生徒募集

- 一、本科 科(二ヶ年卒業)五十名
- 二、裁縫專修科(二ヶ年卒業)百名
- 三、師範 科(二ヶ年卒業)二十名
- 四、專攻 科(一ヶ年卒業)二十名
- 五、本科專修科(二年補缺入)若干名
- 六、選科 若干名

三月卅日迄

右希望者ハ願書提出ノコト

詳細ハ本校宛學則請求セラルヘシ

昭和八年三月

福島縣平町田町

文部大臣 藤田女學校

電話三二八番

産婆生徒募集

今、入學の好時期

……御希望の方は至急御申込みを……

新學期は四月八日より

平南町

産婆 學校

校長 清野 清子 電話三〇七番

復興生徒募集

第五年 第一學年 壹百名 第二學年 若干名

入學資格 小學校卒業以上 出願期日 四月四日迄 新學期開始 四月四日

私立磐城青年學校

創立明治四十年 規則書申込次第進呈

農民の血涙史(7)

鮫川堰を踏査し 往時を想起

農民達も今は全く悲鳴を擧げずに居られなくなつた、窮後の一策に創立無効の訴訟を提起して、會社を向ふに廻したが

用意周到 な利權屋一派の陣立てに對しては到底齒が立たず、是れも一側

を

を

を

を

議長袋叩き

赤井の騒動

本日罰金言渡

石城郡赤井村第一共有財産保護組合幹部の組合金横領事件は既記の如くであるが去る一月五日午前九時同村第一小學校に於て同組合の代議員會が開かれた際幹部等の不當なる處置に憤慨し代議員の一名たる同村字大倉農佐藤金彌(六)が横領事實を列擧して

幹部席に 廻つたのを議長宮内喜作が拒否して代議員の木田仙次郎と共に佐藤を退去させ様とした事から騒動を起し佐藤の説を支持する代議員

字窪田七十三番地鈴木隆

見習奉公と

偽つて賣飛ばす

悪周旋屋が雲隠れ

石城郡内郷村大字宮字高坂居住周旋業山田喜市(四)は先月廿八日湯本町字傾城居住鈴木吉次の三女ハル(七)を東京市の某實業家方へ見習奉公に周旋するからと誘ひ出し水戸市上市南町飲食店常盤方へ前借八十圓で賣飛ばし前借金を横領して逃走した事が父親の耳に入り本日平署に訴へ出た

合格発表

平商は今晩

平町警中、警女、平商にては本日午前九時より引續き入學試験を執行して居るが各校の合格者の発表及び入學式は左の如くである

△警中 三十一日正午
△警女 四日午後一時

發 表 三十日正午
入學式 五日午前九時
△平商 本日午後七時
發 表 五日午前九時
入學式 五日午前九時

平區後任檢事

昨報 平區裁判所檢事から仙臺地方裁判所檢事に榮轉した上田次郎氏の後任は東京地方裁判所豫備判事三堀博氏と決定した

受験中に卒倒

警女の受験中に

石城郡内郷村高坂小學校尋常科第六學年女生四家ヨシ(三)は昨日警城高等女學校の入學受験中突然卒倒した

ので大騒ぎを演じたが若松醫師を招き腦貧血と判明應急手當の結果回復し無事受験を済した由

公金横領収入役に

檢事が懲役二年を求刑

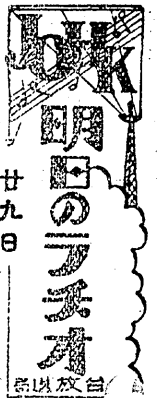
石城郡川前村大字村立百二十四番地同村收入役代理永山新三(七)が昭和三年十二月より昨年二月迄の間自己取扱に係る村税其他の公金三千六百圓を横領消費した業務上横領事件の公判は本日

日午前十時より平支部に於て中島裁判長係り關口、竹内兩判事陪席、小林檢事立會、武田辯護士列席の下に開廷されたが事實取調の上檢事より懲役二年を求刑された

夢見た成功

途中で断念

秋田市横橋町佐々木祐治二男政治(七)は去る廿日東京に憧れて僅の旅費を持つて家出したが郡山市で無一物となり結局平町の知人を頼るべく空腹を抱へながら昨夜平町に來たが知人の家も判らず本日午前十時頃町役場に救助願出た



今晩も明日も北西の風天気良し

今晩の部

後六、〇〇 子供の問時 童謡 子鳩會々員 ビアノ伴奏河村直利
後六、二五 講演「最近の歐米體育界を視察して」大谷武一
後七、三〇 大毎主催全國選抜中等學校野球大會茶話會狀況(大阪中央公會堂より中繼)
後八、〇〇 野球アラエナイ
後八、五〇 連續講談「水戸黄門第二席」田邊南龍

衰弱男が家出

郡好間村字町田福田政次郎の三男留五郎(三)は本年一月より極度の神經衰弱に胃り自宅にて治療中去る廿六日午前十時頃家人の不在中行衛を晦したので本日平署に捜査方を願出た

郡農會が乗出して

卵價の統一を圖る

石城郡農會では豫てより各農家の養鶏業を奨励指導しつゝあるが最近では卵價が割安であるのに飼料品は騰貴しつゝあるので養鶏組合中には郡内各市場に産卵の投資をなす向が多いので近く卵價取引の統一を計るべく準備中である

高木教員送別

郡小名濱町小學校教員高木直吉氏は今回福島師範學校專攻科試験に合格したので同校教員及び関係者等は廿六日午後一時より同町錦盛屋旅館にて盛大な送別會を催した

裁判所たより

石城郡内郷村大字高坂字立野八十番地無職溝井盛七

後九、三〇 時報
ス 氣象通報 番紙豫告

明日の部

後六、〇〇 子供の時間 童話劇「ヨーヨー姫」JO AK 唱歌隊
後六、二五 講演「西方アジャバレスチナに就て」石河光哉
後七、三〇 講演 町田梓郎
後八、〇〇 舞踊音楽歌 舞伎座より中繼
後八、五〇 連續講談「水戸黄門道中記」第三席 田邊南龍

公判開廷する

- 平職業紹介所報告
- 回人を求める方
- 農夫 三十才前後 委細 面談(高久村某)
- 裁縫見習 十八才 尋卒 給料面談(平町某)
- 結髪見習 十六才 高卒 仕着小遣(平町某)
- 下駄工見習十五才 尋卒 仕着小遣(平町某)
- 回職をる方求め
- 旋盤工 十七才 高卒 給料面談(内郷村某)
- 洋品店員 十六才 高卒 給料面談(平町某)
- 發動機製工 十五才 高卒 給料面談(平窪村某)
- 銀冶工 二十六才 尋卒 給料面談(平町南町某)
- 給料面談(四倉町某)

幕末剣道

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫
佐々木見山

第三百一席

馬は必ず申受ける

此所は本所一ノ橋向ふ辨財天神社の門前に居る曲馬東小きん小兼の佐居、旗本邸の跡です。家も廣い厩もあり馬を慣すに小規模ながら馬場もある時は四月の上旬朝から降り出した雨の爲に回向院境内の曲馬も休み小きん亭主山本克己と小兼の情夫おかめの金太其他食客の多助と以上五人で酒を飲んでゐた。

小きん「ねえおまへさんあの馬を有馬様から取りに来るかね」
山「二三日前に来た松崎に渡邊といふ奴に痛い竹刀を背負はしたらとても腕づくで取返すことは出来ねえとそこで金を持つて来るであらう五百兩と吹掛けたが二百兩位は出さずであらう此事が殿様に知れば腹を切らさばなるまい二百兩の自腹もつらからうが死ぬよりは増しだらう」

○「頼む誰も居らぬか」と玄關で呼ぶ者がある。克己はこれを見て「山「ヤイ多助客が来たやうだ出て見ろ」と云はれて多助が引返つたが間もなく引返して来



多「侍が来ました有馬様の家来て菊地大六といふ者がお前さんに會ひたいと申して居ります」
山「来たか人が来るやうでは金を持つて来たであらう

客間へ通してくれ」
多「もう通して置きました」
山「それは氣轉をきかしたナ」
多「江戸は火事早い」
山「ドレ會つてやらう金を持つて来たかそれとも愚痴を並べに来たか」

羽織を被て客間に出て来た見るとそれにゐるは年頃卅七八色の黒い髪の毛の赤い而して縮れた肩から直首の生えたやうな骨格はめれば丈夫一方に出来上つてゐる。
山「これは、たくお越なされた手前は山本克己と申す者でござる」
大「自分事は有馬玄蕃頭家臣菊地大六と申す者である拙者の門人松崎采女、渡邊金彌が貴公より剣法の御指南にあづかりし由忝なく存ずる」

下さい」
山「是は怪しからんこと手前の妹小きん小兼の二人が松崎渡邊の御兩所より頂戴したものだ。それが手前があの馬に種々藝を教へ只分では曲馬に用ひてゐるさすればお渡し申す事はならぬ。此事は松崎渡邊のものにお話し致したし強て入用とあらば五百金にて買渡すことに仕る金を持つて来たかナ。只ではまともならんぜ」
大「だまれ小きん小兼の二人は松崎に渡邊を欺いて乗馬を奪ひ取つたものである。此事公儀に訴へれば貴様達は捕へられて重き刑罰を受けるは必定然し罪人にいたすは」

山「ア松崎どの渡邊どの、貴公は先生かな四天流とか申す剣道にて竹刀を二口持つて道場を蒐げ廻る面白いお流儀であるナ」
大「イヤ其儀に就て参つた次第ではない此方に殿様の御乗馬松風の小櫻が居るとの事どうもこれをお引渡し

山「ふざけた事を云ふナ此奴俺をなんだと思ふ中國から大阪京都にかけて虎と云はれる山本克己貴様の腕では馬を引いて行く事はならぬぞ立つて勝負しろ」
大「オー」
と答へて大六が其座を立つ。此時脇差を引抜いた山本克己が正面から斬り込んだ。菊地はヒラリと身を變して手元に躍り込み利き腕を取つて引寄せ足を揚げて先方の腰を蹴つた之が爲に克己はバダリとたふれた。

通學生用革靴

- ボックス編上靴(中等學生用).....5.00ヨリ
- 同 短靴(女學生用).....4.50ヨリ
- 同 サンドル(小學生用).....1.00ヨリ
- 他 ゴム靴各種取揃テアリマス

平四丁目 菊地靴店

印刷物の御用命は總て
常磐毎日印刷株式會社
電話三六〇番

新學期の裁縫用具は
ハシモトヤへ!
女學生用カバン
澤山入荷しました。.....
田町 ハシモトヤ糸店
電 十四番
(少年店員募集)

江戸前料理會社
見習さん大至急募集
十五歳より二十歳迄
錦水
電話四五四番

貸切の御用命は!
獅子吼(四四九)ノ勢デ
眞先ニ.....(マツサキ)
三九二タクシーへ!!!

外科 醫學博士 渡部 義夫
小兒科 女 醫 渡部 きい子
内科
平町田町大通リ(電話二七七番)
入院應需 渡部 外科